

実業団日本一を決める『第37回テニス日本リーグ』男女ともに準優勝！

2月17日(金)～19日、東京体育館にて『第37回テニス日本リーグ』が開催されました。12月の1stステージ、1月の2ndステージにて行われたリーグ戦にて、好成績を取めた男子8、女子6チームが進出できる決勝トーナメント。橋本総業ホールディングスは、男女ともに準優勝という成績となりました。

準々決勝、準決勝を勝ち上がり、決勝は、女子島津製作所、男子は昨年と同様のイカイとの決勝となりました。

女子は小堀桃子のシングルス敗退後、エース対決では昨年の全日本選手権優勝の坂詰姫野が登場しました。第1セットは躍動感あふれるプレーで奪い、第2セットは相手の本玉真唯が取り返します。ファイナルセットのマッチタイブレークでは、5-3でリードしましたが、6-6から相手の4ポイント連取で惜しくも敗退しました。

それでも、ダブルスでは瀬間詠里花／岡村恭香が、全日本選手権優勝経験のある桑田寛子／大前綾希子に、意地の勝利を見せて、今シーズンの日本リーグを終えました。



男子は、リー・ゼがイカイのタイソン・キアットコウスキと接戦を演じ、第1、第2セットともにサービスゲームをわずか1ブレークのみで敗退します。エースの中川直樹は、東京体

育館の特殊なサーフェスにより持ち味を出しにくく、ストレートで徳田廉大に敗れます。勝敗が決したため、ダブルスは1セットのみとなり、河内一真／伊藤竜馬が戦いました。

今回、決勝で破れはしましたが、スコアが語る以上に僅差だったといえます。来年度のアベック優勝を目指し、選手たちは再びツアーでさらに成長すべく、努力してまいります。



■女子結果

2月19日（日）決勝

橋本総業ホールディングス 1-2 島津製作所

S1 坂詰姫野 6-3 0-6 [6-10] 本玉真唯

S2 小堀桃子 1-6 3-6 加治遥

D 瀬間詠里花／岡村恭香 6-4 6-4 桑田寛子／大前綾希子

2月18日（土）準決勝

橋本総業ホールディングス 3-0 ノアインドアステージ

S1 坂詰姫野 6-3 6-3 上田らむ

S2 小堀桃子 6-0 6-3 松田鈴子

D 瀬間詠里花／岡村恭香 6-1 6-1 中塚桃子／横山菜里

2月17日（金）準々決勝

橋本総業ホールディングス 3-0 九州電力

S1 坂詰姫野 6-3 6-1 宮原三奈

S2 小堀桃子 6-2 6-1 今村凧沙

D 瀬間詠里花／岡村恭香 6-2 6-0 中塚桃子／横山菜里

■男子結果

2月19日（日）決勝

橋本総業ホールディングス 0-2 イカイ

S1 中川直樹 2-6 5-7 徳田廉大

S2 リー・ゼ 4-6 5-7 タイソン・キアットコウスキ

D 伊藤竜馬／河内一真 6-7 (5) マクラ克蘭勉／柚木武（打ち切り）

2月18日（土）準決勝

橋本総業ホールディングス 3-0 ノアインドアステージ

S1 中川直樹 7-6(4) 6-3 市川泰誠

S2 リー・ゼ 6-7(7) 6-3 [10-3] 原崎朝陽

D 伊藤竜馬／河内一真 5-7 6-3 [10-6] 渡邊聖太／坂井勇仁

2月17日（金）準々決勝

橋本総業ホールディングス 2-1 伊予銀行

S1 中川直樹 7-5 6-2 片山翔

S2 リー・ゼ 6-3 7-5 楠原悠介

D 伊藤竜馬／河内一真 6-7(1) 4-4 Ret 河野優平／中川舜祐

